駒野・奥条地区道路整備方針検討委託業務

特記仕様書

１．業務の目的

海津市（以下「本市」という。）は岐阜県の南の玄関口に位置し、愛知県および三重県と県境を接している。交通の要衝という地理的特性から、大規模災害時には支援の受け入れや中継の拠点として機能することが想定され、現在、国道 258 号の４車線化をはじめとする道路ネットワークの確保に向けた計画を検討している。

そのような背景の中、本市では、幹線道路の計画を契機に、まちづくりの視点で地域の街路網のあり方を検討し、持続可能な地域社会の構築に向けたビジョンの策定が重要と考え、昨年度、エリア内の道路網のあり方について市民ワークショップを実施した。

本業務は、昨年度実施した市民ワークショップの結果を踏まえて課題を抽出するとともに、エリア内の道路網のあり方について方向性を検討するものである。その上で、再度市民ワークショップを実施し、市民の意見を踏まえながら対策対象箇所を抽出することを目的とする。

２．業務の名称

駒野・奥条地区道路整備方針検討委託業務

３．業務対象地域

海津市南濃町駒野・奥条　地内

４．業務期間

契約締結の日～令和９年３月２６日

５．業務内容

（１）計画準備

業務内容を把握するとともに作業工程、仕様の確認・検討を行い、業務計画書を作成する。

（２）現況把握・課題抽出

上位・関連計画及び検討対象エリアの現状（道路状況、利用者特性、土地利用等）、昨年度実施した市民ワークショップ結果を整理し、「まちづくりの視点」における問題点や課題を抽出する。

（３）道路のあり方についての方向性検討

上記内容を踏まえて、生活環境を高めるまちづくり（事故対策、コミュニティ・ゾーンの形成、歩行空間整備等）と安心して暮らせるまちづくり（道路ネットワーク、道路の維持管理等）の視点で、道路のあり方に関する方向性を検討する。

（４）WS 運営支援

道路のあり方に関する方針検討に際して、市民ワークショップの開催を予定しており、受託者は運営補助として、ワークショップへの参加、ファシシリテーター、ワークショップに必要となる資料作成、広報用資料（かわら版等）等の作成を行う。

・ワークショップの開催回数は駒野地区 1 回、奥条地区 1 回の計 2 回を予定する。

・ワークショップ参加メンバーは、発注者側で選出する。

（５）対策対象箇所の抽出

抽出した課題や WS の結果を基に、対策対象箇所を抽出し、整備の優先順位を検討する。

（6）報告書作成

本業務で検討した内容を、報告書として取りまとめる。

６．打合せ協議

業務の適正な遂行を図るため、発注者と密接な連絡を取り、その都度打合せ記録簿を作成し相互に確認する。打合せは、業務着手時、中間時（2 回）、成果品納入時の 4 回を予定する。